まるごとひふみ

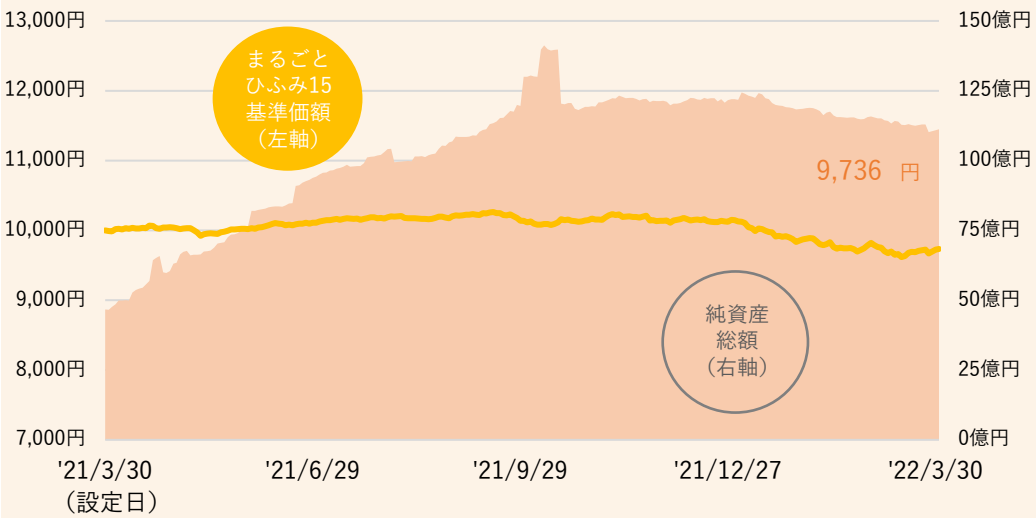
まるごとひふみ15　追加型投信/内外/資産複合
まるごとひふみ50　追加型投信/内外/資産複合
まるごとひふみ100　追加型投信/内外/株式
2022年3月度　月次運用レポート

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。

作成基準日：2022年3月31日

まるごとひふみ15 運用実績

基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ15	-0.07%	-3.86%	-3.96%	-2.55%	-	-2.64%

まるごとひふみ15の運用状況

基準価額	9,736円
純資産総額	111.22億円

まるごとひふみ15投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	84.41%
ひふみ投信マザーファンド	8.93%
ひふみワールドファンド*	6.15%
現金等	0.52%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

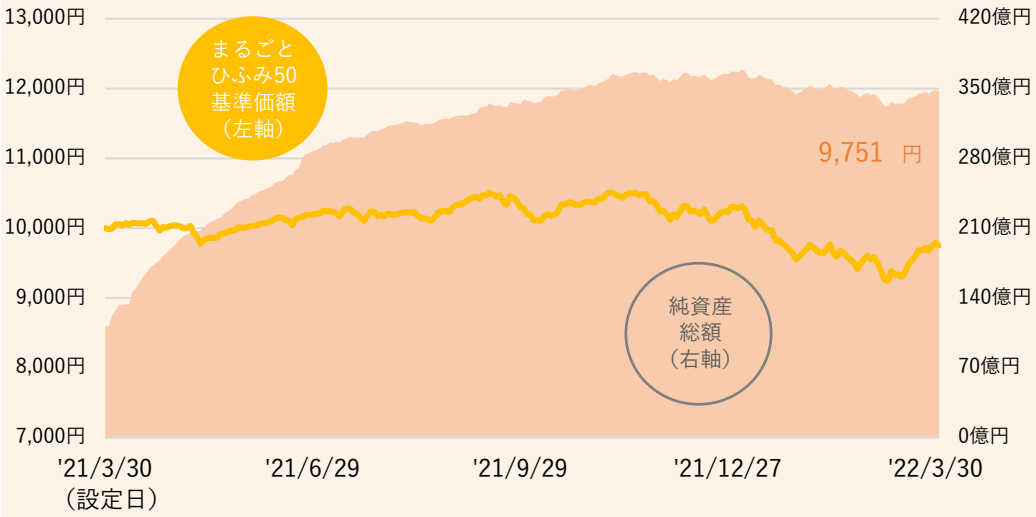
基準価額変動額（月次）	-7円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-82円
ひふみ投信マザーファンド	+41円
ひふみワールドファンド*	+39円
信託報酬・その他	-5円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-109円
株式・投資証券	+41円
為替	+63円
信託報酬・その他	-2円

※「まるごとひふみ」は、「まるごとひふみ15」「まるごとひふみ50」「まるごとひふみ100」の３ファンドの総称です。
※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。
※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。
※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。
※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。
＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。
※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。
※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。
※「まるごとひふみ15」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」85%、「ひふみ投信マザーファンド」9%、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」6%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

※後述の「当資料のご留意点」を必ずご覧ください

まるごとひふみ50 運用実績

基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ50	2.03%	-5.19%	-5.19%	-2.35%	-	-2.49%

まるごとひふみ50の運用状況

基準価額	9,751円
純資産総額	347.42億円

まるごとひふみ50 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	48.25%
ひふみ投信マザーファンド	30.52%
ひふみワールドファンド*	20.72%
現金等	0.50%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

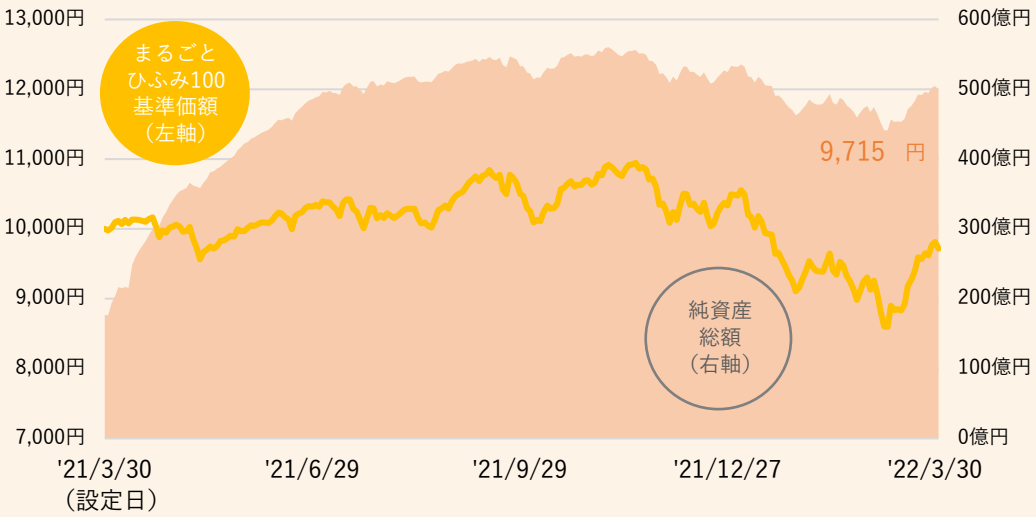
基準価額変動額（月次）	+194円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-47円
ひふみ投信マザーファンド	+127円
ひふみワールドファンド*	+122円
信託報酬・その他	-8円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-63円
株式・投資証券	+126円
為替	+137円
信託報酬・その他	-6円

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ50」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」50%、「ひふみ投信マザーファンド」30%、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」20%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

まるごとひふみ100 運用実績

基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ100	5.05%	-7.26%	-7.23%	-2.65%	-	-2.85%

まるごとひふみ100の運用状況

基準価額	9,715円
純資産総額	499.30億円

まるごとひふみ100投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	58.98%
ひふみワールドファンド*	40.56%
現金等	0.46%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+467円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみ投信マザーファンド	+244円
ひふみワールドファンド*	+233円
信託報酬・その他	-10円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
株式・投資証券	+240円
為替	+237円
信託報酬・その他	-9円

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ100」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみ投信マザーファンド」60％、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」40％を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	288.75億円
組み入れ銘柄数	27銘柄

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	1.46%
デュレーション	8.0

種別比率	
国債	47.08%
住宅ローン担保証券	9.12%
特殊債	7.43%
社債	7.04%
地方債	1.72%
国際機関債	0.83%
-	-
現金等	26.78%
合計	100.00%

格付比率	
AAA	27.39%
AA	1.80%
A	35.71%
BBB	8.31%
BB以下	0.00%

組み入れ上位5通貨 比率		
1	米ドル	25.72%
2	日本円	19.64%
3	ユーロ	18.71%
4	中国元	7.43%
5	オーストラリア・ドル	1.72%

組み入れ上位5カ国 比率		
1	アメリカ	30.21%
2	日本	18.66%
3	イタリア	8.31%
4	中国	7.43%
5	スペイン	6.05%

為替ヘッジ比率
94.64%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」は、現物債券について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100％を超える場合があります。

組み入れ上位5銘柄 比率

	銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1	ITALY BUONI POLIENNALI DEL TESORO	国債	イタリア	ユーロ	2031/12/1	8.31%
2	FNCL 3.5 5/22 Mtge	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2049/1/25	7.19%
3	US TREASURY N/B	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	7.14%
4	第175回利付国債（20年）	国債	日本	日本円	2040/12/20	7.07%
5	SPAIN GOVERNMENT BOND	国債	スペイン	ユーロ	2031/10/31	6.05%

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況	
純資産総額	6,946.71億円
組み入れ銘柄数	262銘柄

資産配分比率	
国内株式	82.81%
海外株式	10.68%
海外投資証券	0.28%
現金等	6.23%
合計	100.00%

市場別比率	
東証一部	78.20%
東証二部	1.49%
マザーズ	2.02%
JASDAQ	1.10%
その他海外株	10.96%
現金等	6.23%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率		
1	情報・通信業	10.68%
2	サービス業	10.58%
3	電気機器	9.39%
4	化学	6.01%
5	銀行業	4.95%
6	建設業	4.63%
7	卸売業	4.17%
8	輸送用機器	3.75%
9	機械	3.38%
10	小売業	3.34%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。
大型(3,000億円以上)
中小型(300億円以上,3,000億円未満)
超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	ソニーグループ	6758	大型	東証一部	電気機器	2.55%
2	オリエンタルランド	4661	大型	東証一部	サービス業	2.44%
3	東京海上ホールディングス	8766	大型	東証一部	保険業	1.94%
4	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	8306	大型	東証一部	銀行業	1.80%
5	ＩＮＰＥＸ	1605	大型	東証一部	鉱業	1.72%
6	日本電信電話	9432	大型	東証一部	情報・通信業	1.66%
7	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.66%
8	住友金属鉱山	5713	大型	東証一部	非鉄金属	1.60%
9	トヨタ自動車	7203	大型	東証一部	輸送用機器	1.56%
10	三菱商事	8058	大型	東証一部	卸売業	1.37%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	283.05億円

投資信託財産の構成	
ひふみワールドマザーファンド	99.86%
現金等	0.14%
合計	100.00%

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	
純資産総額	2,807.63億円
組み入れ銘柄数	191銘柄

資産配分比率	
海外株式	87.68%
海外投資証券	1.28%
現金等	11.04%
合計	100.00%

組み入れ上位10カ国 比率		
1	アメリカ	64.63%
2	ドイツ	3.53%
3	中国	2.26%
4	イギリス	2.11%
5	オランダ	2.05%
6	スイス	1.78%
7	台湾	1.64%
8	カナダ	1.51%
9	アイルランド	1.41%
10	デンマーク	1.37%

組み入れ上位10業種 比率		
1	ソフトウェア・サービス	13.56%
2	資本財	11.80%
3	半導体・半導体製造装置	9.07%
4	各種金融	7.37%
5	エネルギー	5.93%
6	食品・飲料・タバコ	5.01%
7	メディア・娯楽	4.95%
8	小売	4.90%
9	ヘルスケア機器・サービス	4.68%
10	自動車・自動車部品	3.19%

組み入れ上位10通貨 比率		
1	米ドル	70.19%
2	ユーロ	6.53%
3	イギリス・ポンド	2.25%
4	スイス・フラン	1.78%
5	台湾ドル	1.64%
6	香港ドル	1.55%
7	デンマーク・クローネ	1.37%
8	オーストラリア・ドル	1.14%
9	中国元	0.92%
10	スウェーデン・クローナ	0.76%

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1	EOG RESOURCES, INC	アメリカ	米ドル	エネルギー	1.62%
2	ALPHABET INC	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.49%
3	ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.41%
4	PIONEER NATURAL RESOURCES COMPANY	アメリカ	米ドル	エネルギー	1.39%
5	MTU AERO ENGINES AG	ドイツ	ユーロ	資本財	1.24%
6	TETRA TECH, INC	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	1.22%
7	BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC	カナダ	米ドル	各種金融	1.20%
8	CADENCE DESIGN SYSTEMS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.20%
9	TYSON FOODS, INC	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.15%
10	BALL CORP	アメリカ	米ドル	素材	1.14%

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績

期間：2021年3月30日～2022年3月31日

ひふみグローバル債券マザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	-1.00%	-3.26%	-3.34%	-2.26%	-	-2.33%

ひふみ投信マザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみ投信マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	4.46%	-8.47%	-12.02%	-8.64%	-	-9.19%

ひふみワールドマザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみワールドマザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	6.28%	-4.79%	1.88%	10.87%	-	11.61%

※「まるごとひふみ」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「まるごとひふみ」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「まるごとひふみ設定来」は、「まるごとひふみ」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「まるごとひふみ100」は、「ひふみグローバル債券マザーファンド」は組み入れていません。

※「まるごとひふみ」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

運用責任者よりお客様へ：まるごとひふみ

まるごとひふみ15は、ファンドに組み入れている「ひふみグローバル債券マザーファンド」の下落がマイナスに影響し、前月末に比べて基準価額は0.07%下落しました。

まるごとひふみ50は、ファンドに組み入れている「ひふみグローバル債券マザーファンド」の下落がマイナスに影響したものの、「ひふみ投信マザーファンド」および「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」の上昇がプラスに寄与したことで、前月末に比べて基準価額は2.03%上昇しました。

まるごとひふみ100は、組み入れ全ファンドが上昇したことで、前月末に比べて基準価額は5.05%上昇しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

ロシアとウクライナを巡る情勢は緊迫した状況が続いているものの、停戦交渉に対する期待が高まりつつあること、原油価格の急騰が一服したこと、円安が進んだことなどを背景に、基準価額は4.46％上昇しました。なお、同期間における参考指標であるTOPIX（東証株価指数、配当込み）は4.30％上昇しています。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

ロシアとウクライナを巡る情勢は緊迫した状況が続いているものの、停戦交渉に対する期待が高まりつつあること、原油価格の急騰が一服したこと、円安が進んだことなどを背景に、基準価額は6.28％（ひふみワールドマザーファンドは6.28％）上昇しました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米FRB（連邦準備制度理事会）が事前の予想どおり政策金利を引き上げたものの、政策金利見通しで利上げの加速を示唆したことや、ECB（欧州中央銀行）が量的緩和策の縮小を加速する方針を決定するとともにインフレ見通しを上方修正するなかで、世界の金利は上昇（債券価格は下落）し、基準価額は1.00％下落しました。

当社は、2022年4月1日より長期的な運用パフォーマンスの向上をめざして運用体制を強化いたしました。当社一丸となって引き続き全力を尽くして運用してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

まるごとひふみ
ファンドマネージャー
岡田 泰輔

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社ＪＰＸ総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

運用責任者よりお客様へ：ひふみグローバル債券マザーファンド

2月末に1.83％程度まで低下した米10年金利ですが、3月末には2.34％と大きく上昇しました。ロシアのウクライナ侵攻で景気悪化が懸念されたものの、FRB（米連邦準備制度理事会）、ECB（欧州中央銀行）ともにタカ派姿勢を堅持し、インフレ退治を優先する姿勢を明確にしました。FRBは3月FOMC（米連邦公開市場委員会）で予告通りの25bp利上げに加え、市場予想以上の利上げパスをメンバー予想（ドット）として示しました。さらに会合後にも、パウエル議長を始め多くのメンバーが利上げペースの更なる加速を示唆しました。市場は年内残り6回の会合で毎回利上げ、そのうち2.5回で50bpの利上げと急ピッチの利上げを織り込んでいます。ECBも債券買入プログラム（APP）を早期に終了させる方針を示し、欧州債金利は上昇しました。一方、EU共同債の発行増額の報道もあってイタリア、スペイン等周辺国国債の対ドイツ利回りは低下傾向にありました。

金利上昇は日本にも波及しました。指値オペ（10年債を0.25％で無制限に購入）がアナウンスされる中、低調な40年入札により超長期の金利が急上昇するなど混乱が見られ、日銀は全年限に渡って債券購入量を大幅増額しました。引き続き予断を許さない状況にあり、YCC（イールドカーブコントロール）の修正が早期に行なわれる可能性も出てきました。

ポートフォリオでは、デュレーションをやや短めにしていること、米国債においては超長期ゾーンのウェイトを高めていること、為替リスクを取って保有している中国元建て債への投資等が奏功し、全体の損失を軽減しています。

またドル調達環境が悪化したこともあり、ヘッジコスト（ベーシス）および短期金利差を考慮した上でのポートフォリオの調整を始めております。

今後もアクティブファンドのメリットを投資家の皆様に十分ご享受いただけるよう全力で運用してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、ＪＰＸにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。

運用責任者よりお客様へ：ひふみ投信マザーファンド

3月は通期の配当が支払われるため、通常のTOPIX（月次リターン3.15%）と配当込みのTOPIX（同4.30%）のリターンに差が出ます。私たちはベンチマークを置いていないものの、もし意識する株式指数は何かと問われれば、この配当込みのTOPIXになります。ひふみ投信マザーファンドは4.46%と若干ながら配当込みTOPIXをアウトパフォームすることが出来ました。1月の新興市場の暴落を経て、私たちは昨年夏から行なっていた「物価と金利の変化」に対応するポートフォリオの構築を加速させ、3月である程度完了し、現時点における私たちのベースポートフォリオが見えたということになります。ここから年後半に向かってポートフォリオを改良してまいります。

相場を取り巻く環境に目をやりますと、国内外で異なるトピックが渦巻いています。国内は引き続きコロナ禍対策、若干のインフレ懸念、夏の選挙辺りが比較的焦点となります。インフレ懸念についてはガソリンの価格が目立って上昇していますし、光熱費も上昇し大手小売店の収益を圧迫していることが分かってきました。海外は、膠着した様子のウクライナ紛争、強いインフレ懸念、米国金融政策、そして米国中間選挙です。テレビを見ていると気がつくと思いますが、欧米ではコロナ禍はもう終わったと言えるような状態です。ウクライナ紛争もロシアの軍事費が非常に高いため、何を戦果としてロシアに持ち帰るのかを決められるかが鍵ですが、予断は許さない状況です。国内外ともにあまり良い話はないのですが、株価は落ち着いてきています。

4月の市場は、日本で市場再編も行なわれますが、新年度の初めということもあり明るいムードになります。5月に入りはじめるところで通期決算発表があり、また新しい年度をスタートさせます。昨年度は成長企業にとっては「成長していても株価が落ちて」しまい、割安企業にとっては「久しぶりに業績が改善したので急激に評価された」様相でした。今年度はそこが発射台となります。成長企業も割安企業も改めて成長をどう捉え、どのように対外発表するのかが、改めるまでもなく注目点となっています。私たちも彼らと対話しながら、投資先を吟味選別し、新しい改良されたポートフォリオを皆様にお見せできるよう、調査活動に励んでまいりたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

運用責任者よりお客様へ：ひふみワールドマザーファンド

ウクライナ情勢が膠着する中、米国市場はエネルギー、ハイテク株中心に上昇し、ひふみワールドマザーファンドの基準価額は前月末比6.28％上昇しました。NYダウ、S&P500共に上昇、出遅れていたNASDAQも上昇に転じました。欧州市場は、感染者数が増加傾向を強めていたイギリス市場の回復が顕著でした。イギリスの新規感染者数は2月後半から急増しましたが、足元は落ち着きつつあります。ただし、死者数が徐々に増加していることには注意が必要です。原油価格が高値圏で推移し、エネルギー株の上昇は市場の牽引役ですが、インフレ懸念も同時に高まり、個人消費を抑制する可能性もあります。米国CPI（消費者物価指数）は継続的に上昇しており、予断を許しません。ハイテク関連企業の業績見通しが相対的に良かったことから、ハイテク株に買い戻しが入ったことも下支えとなり、主要株価指数は底堅い展開でした。3月に入り感染者数が激増した中国は、上海市が28日からロックダウンになるなど、ゼロコロナ政策下、厳しい対応が取られています。中国、香港市場は月中に大きく下落後、月末にかけ戻しましたが、終値は先月末をそれぞれ下回りました。

ひふみワールドマザーファンドは、米国市場を中心に、欧州、中国、アジア市場に慎重に投資継続しています。現金等も引き続き10％程度保有しています。1980年代後半のペレストロイカ、グラスノスチからソビエト連邦解体、民主化へと進みつつあったロシアの行く末を西側諸国は注視していましたが、30年を経た現在は当時のゴルバチョフ書記長が思い描いた姿ではありません。ロシア、中国の対米姿勢はブロック経済化を進めそうです。

引き続き世界の経済・政治動向を慎重に見極め、皆様からお預かりした大切なご資産を世界の株式市場へ投資し、成長させ、安全にお返しできるよう運用本部全員邁進いたします。まるごとひふみをよろしくお願いいたします。

ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕

市場環境の見通しについて

運用本部
経済調査室長
三宅一弘

原油高とリスク・オフからの好転探る株式市場

カギ握るロシア・ウクライナの停戦協議

世界株式市場の年初来の注目・懸念材料は主に、①新型コロナ・オミクロン変異株のパンデミック（世界的大流行）、②欧米を中心とするインフレ圧力と急激な金融引き締め（⇒景気後退不安）、③ウクライナ危機と対ロ経済制裁などに伴う資源エネルギー価格の急騰（⇒物価高）にありました。今後の世界株を占う上で③が当面の最大の焦点でしょう。

第1の世界の新型コロナ感染者・死亡者数はピークアウトし、欧米では活動制限の解除・撤廃が進み、アフターコロナの様相が強まっています。特に米国では職場への復帰と雇用者所得の拡大が消費の活発化などを通じて景気拡大を支える動きになっています。中国では抑えられてきた新規感染者数が増加に転じ、一部の大都市でロックダウン（都市封鎖）措置がとられるなど予断を許さない面もありますが、世界の大勢は沈静化（季節性のインフルエンザ化）方向に動いているとみられます。経済活動の正常化によって人手不足・供給網の混乱が改善し、この面からのインフレ圧力の低減が期待されます。

第2の欧米を中心とするインフレ圧力は、パンデミックに起因するコロナインフレ要因（供給制約、大規模な金融・財政政策）は今後、改善に向かうと予想されます。加えて脱炭素政策がもたらしたグリーンインフレも後述のウクライナ危機を契機に化石燃料や原子力の推進に政策転換の動きが広がり、緩和方向とみられます。一方、ロシア・ウクライナ戦争と対ロ制裁に伴う資源エネルギー高がインフレ圧力の主因にクローズアップされています。この帰趨が主要国の物価高、そして金融政策を大きく左右しそうです。

主要国の金融政策は物価高抑制重視のタカ派姿勢が鮮明です。米国の3月のFOMC（連邦公開市場委員会）では0.25％の利上げが決定され、年内残り６回すべての会合で利上げ実施の見通しや、次回５月会合での量的引き締め（QT）が示されました。FOMC幹部からさらなる引き締め発言が相次ぎ、市場では一段の大幅利上げを織り込む動きです。過度な金融引き締めは景気後退につながり、株価下落を招くリスクがあります。米10年国債金利が長期の期待インフレ率を上回ると危険ですが、今のところ実質金利はマイナス圏にあり大丈夫です。

第3のロシア・ウクライナ戦争は、西側のウクライナ軍事支援などからロシアによる早期のウクライナ制圧シナリオに狂いが生じています。厳しい対ロ経済制裁と巨額戦費によって困窮するロシアはインド向けに「原油の大幅な値引き販売（侵攻前の価格と比べバレル当たり最大35ドル安）を提案」とのニュースが流れています。ロシアが原油の大幅値引き販売に走り出した点は急騰を辿ってきたエネルギー価格の軟化要因になりそうです。

今後1ヵ月程度を視野にすると、世界株はロシア・ウクライナの停戦協議の行方が焦点になりそうです。株価は、ウクライナ戦争と対ロ経済制裁に対してグローバルな投資資金がリスク回避を強めたことで、そして資源エネルギー価格の急騰に伴う物価高や金融引き締め、景気下押し懸念を通じて急落しました。一方、停戦・終結そして資源エネルギー価格の下落見通しが強まると大幅反発に動きます。戦争の行方によって相場・市況の方向性が一変する難しい局面にありますが、停戦交渉の進展などを視野にすると、株価は先行性を発揮しながら下値余地限定的、上値余地拡大に向かう可能性がありそうです。

（4月4日）

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

4月が始まりました。新年度の抱負を教えてください！

	Fujino Hideto 藤野 英人 代表取締役会長兼社長 最高投資責任者	運用に関してはCIO(最高投資責任者)に専任になるので、その業務の高度化をはかりたいということと、よりいきいきとした生活者になれるのかを考えていこうと思います。人生の充実の延長線に投資の充実や社会に対して見通す力がつくと信じているので。
	Yuasa Mitsuhiro 湯浅 光裕 代表取締役副社長 未来戦略部長	44年続いた米ソ冷戦が終結した1989年から33年、それぞれ保有核兵器を6,000器以上に増やし、より複雑化した対立構造が2022年に明確化しました。世界で静かに長い変化が起こっていると考え、より深く、慎重に世界を俯瞰し、投資先国、企業、人を観て行きたいと思います。
	Watanabe Shota 渡邉 庄太 運用本部長 株式戦略部長 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	原点の再認識ということで、普段の個別企業取材をしっかりこなしたり、四季報チェックなどのボトムアップ調査をやりたいと考えています。コロナ変異株のリスクは継続しますが、安全に配慮のうえで現場調査も復活させたいですね。
	Yatsuo Hisashi 八尾 尚志 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	新年度だから、という何か特別な新しい抱負を持つことはありません（当然、その年々の地テーマやタスクというものはありますが）。これまで同様、変わらず運用と調査にベストを尽くすこと、物事には先入観を持たずに新しい発見を意識すること、またチーム内のバランスを保つことも意識しつつ、明るく前向きな空気感の熟成を心がけてまいります。さらにはレオスESGステアリングコミッティー委員長として外部発信をさらに増やしていくつもりです。
	Sasaki Yasuto 佐々木 靖人 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	改めまして、4月よりひふみ投信マザーファンドの運用責任者になりました。皆様のご期待に沿えるよう、今まで以上に努力も工夫も行なってまいります。新しいメンバーも多くなりましたし、彼らとのケミストリー醸成も楽しみにしています。
	Wei Shanshan 韋 珊珊 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	新年度で、引き続き地道に運用や調査活動に精進し、海外出張も再開したいと考えています。厳しい世界情勢の中で、慎重に対応しながらもポジティブに毎日を生きていくことを忘れずにチャレンジしていきたいと思います。

運用メンバーからのメッセージ

Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

運用やリサーチ活動でも引き続き全力を尽くして行くほか、そのための活力となる趣味のラジコン活動も今年はもっとアクティブにやっていきたいと思います。

Ono Shotaro
小野 頌太郎
シニア・アナリスト

短期の悲観と長期の楽観という2つの視点を意識しながら企業調査、そして銘柄推奨を増やしていきたいと思います。また日々の活動をリターンにしっかり反映できるよう貢献していきたいと思います。

Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

ポートフォリオに貢献できるリサーチ活動をこれまでと変わらず日々淡々と実施できるように、計画的に一方で柔軟性をもって業務にあたる所存です。また、様々な考えをいかに集合知として纏め上げることができるのか、よりよい手法を引き続き探っていき、個人としてもチームとしても昨年よりも付加価値の高いアウトプットを目指していきたいです。

Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト

デスクリサーチと現地取材、小型株と大型株、定性と定量、ミクロ視点とマクロ視点、両極をバランスよく調査して死角のない銘柄分析を心掛けます。

Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト

ボトムアップリサーチによる企業調査と定量分析の幅を拡大させます。今後も新型コロナやウクライナ戦争など、企業のファンダメンタルズ以外の要因で株価が大きく変動する状況が続くと思います。企業取材や会社訪問による足で稼ぐ調査で中長期のグロースを探し続けながら、定量分析を通じて短期の状況をキャッチアップしていきます。

Tada Kensuke
多田 憲介
アナリスト

個別企業のボトムアップ調査だけでなくポートフォリオに含まれる価値観の多様化・最適化を意識し、チーム全体の結果にこだわりながら動きます。

運用メンバーからのメッセージ

	Fukumuro Mitsuo 福室 光生 債券戦略部長 シニア・ファンドマネジャー	運用の質を上げることにつきます。株式のファンドマネージャー/アナリストとのチームワークもキーになると思っています。
	Okada Taisuke 岡田 泰輔 未来戦略部 シニア・ファンドマネジャー	クレジットアナリストとしての活動をさらに充実させたいと考えています。米国では複数回の追加利上げや量的緩和の縮小が確実視されていますが、何らかのきっかけでこれらを背景とした社債市場の動揺が起こるかもしれません。その際に適切な提案ができるように備えたいです。なお、プライベートではもっと料理のレパートリーを増やしていきたいです。
	Miyake Kazuhiro 三宅 一弘 運用本部 経済調査室長	新型コロナのパンデミックとアフター・コロナや、ロシア・プーチンのウクライナ侵略など、後世の歴史の教科書に掲載される事象（大イベント）が生じています。躍動し、変化する世界経済・マーケットの現状や将来展望を調査・分析し、情報発信する身としてはやりがいが倍加しています。新年度もよろしくお願いします。
	Hashimoto Yuichi 橋本 裕一 マーケットエコノミスト	今年はサッカーW杯があり、サッカー的に表現すると、リベロとかスイーパー的な動きをしたいです。リベロは自由を、スイーパーは掃除人を意味します。自由なリサーチの中で、ファンドマネージャーやアナリストの手が回らないような事柄を、掃除をするように調べ上げ、チームの勝利に貢献したいです。

まるごとひふみの特色

まるごとひふみ15、まるごとひふみ50
投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。
まるごとひふみ100
投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

1．投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
まるごとひふみ15、まるごとひふみ50
実質的に株式と債券に分散投資を行なうことで、基準価額の変動幅をおさえ、信託財産の中長期的な成長を目指します。
まるごとひふみ100
実質的に国内株式と海外株式に分散投資を行なうことで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

2．資産配分比率が一定の比率となることを目指して運用を行ないます。
資産の実質的な保有比率が概ね以下の比率となるように、投資対象ファンド（ひふみ投信マザーファンド、ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）、ひふみグローバル債券マザーファンド ）の基本配分比率を調整します。
まるごとひふみ15　原則、株式約15％、債券約85％
まるごとひふみ50　原則、株式約50％、債券約50％
まるごとひふみ100　原則、株式約100％　※まるごとひふみ100は、ひふみグローバル債券マザーファンドには投資を行ないません。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因
- 投資信託証券への投資を通じて株式や債券など値動きのある証券（外国の証券には為替変動リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、投資対象とする投資信託証券においては組入有価証券を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	投資対象とする投資信託証券において外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ

商品分類	まるごとひふみ15、まるごとひふみ50　追加型投信／内外／資産複合 まるごとひふみ100　追加型投信／内外／株式
設定日	2021年3月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年4月15日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。
購入単位	販売会社が定める単位となります。なお、収益分配金の再投資は、１円以上１円単位となります。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。
換金（解約）単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。（申込受付不可日は除きます。）ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等をすることや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等をすることがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

ひふみアカデミー（月次運用報告会）のご案内

毎月、運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明している「ひふみアカデミー」。運用メンバーより、動画配信にてご報告しております。

運用状況の他、経済環境や株式市場、経済見通しを知りたい方にもおすすめのセミナーです。

YouTube動画セミナー「ひふみアカデミー」

https://www.youtube.com/playlist?list=PLkwGm3S_gh8S2ze4qSie9yAjrJidz3_7t

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用

申込手数料 ：3.30%（税抜3.00%）を上限として、販売会社が定める料率とします。
「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。

信託財産留保額：ありません。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

<table>
<tr><td>運用管理費用
（信託報酬）</td><td>
信託財産の日々の純資産総額に対して下記に記載の信託報酬率を乗じて得た額
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。
日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドの信託財産から支払われます。
運用管理費用の配分
<table>
<tr><td colspan="2"></td><td>まるごとひふみ15</td><td>まるごとひふみ50</td><td>まるごとひふみ100</td></tr>
<tr><td colspan="2">信託報酬率</td><td>年率0.660%
（税抜年率0.600%）</td><td>年率0.935%
（税抜年率0.850%）</td><td>年率1.320%
（税抜年率1.200%）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">支払先の配分（税抜）</td><td>委託会社</td><td>年率0.290%</td><td>年率0.415%</td><td>年率0.590%</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.290%</td><td>年率0.415%</td><td>年率0.590%</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.020%</td><td>年率0.020%</td><td>年率0.020%</td></tr>
</table>
※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。
</td></tr>
<tr><td>投資対象とする投資信託証券</td><td>
投資対象ファンドにおける運用管理費用
純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額
<table>
<tr><td></td><td>まるごとひふみ15</td><td>まるごとひふみ50</td><td>まるごとひふみ100</td></tr>
<tr><td>ひふみワールドファンドFOFs用
（適格機関投資家専用）</td><td>年率0.00264%
（税抜年率0.00240%）</td><td>年率0.0088%
（税抜年率0.0080%）</td><td>年率0.0176%
（税抜年率0.0160%）</td></tr>
</table>
※ 上記は投資対象ファンドを基本の組入比率に従って組み入れた場合の運用管理費用（信託報酬）です。この値は目安であり実際の組入状況により変動します。
※「 ひふみ投信マザーファンド」「ひふみグローバル債券マザーファンド」は、運用管理費用（信託報酬）がかかりません。
</td></tr>
<tr><td>実質的な負担</td><td>
純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額
<table>
<tr><td>まるごとひふみ15</td><td>まるごとひふみ50</td><td>まるごとひふみ100</td></tr>
<tr><td>年率0.66264%程度
（税抜年率0.60240%程度）</td><td>年率0.9438%程度
（税抜年率0.8580%程度）</td><td>年率1.3376%程度
（税抜年率1.2160%程度）</td></tr>
</table>
※ 基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。
</td></tr>
<tr><td>監査費用</td><td>信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税抜年率0.0050%）を乗じて得た額（なお、上限を年間99万円（税抜年間90万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）。
日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</td></tr>
<tr><td>その他費用・手数料</td><td>投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。</td></tr>
</table>

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第1151号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：三井住友信託銀行株式会社
販売会社：後述の「販売会社」でご確認いただけます

当ファンドや販売会社についての照会先

RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社
電話：03-6266-0129
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○		○	
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第36号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
長野證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第125号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○